

平成28年度 学校評価書 嘉麻市立碓井小学校

項目	評価指標	27年 2学期 評価	28年 2学期 評価	自己評価を踏まえた改善策	学校関係者評価委員会のご意見	学校関係者評価を 踏まえた改善策
I 組 運 営	1 学校の教育目標や教育方針を明確に示す校長 教職員のAB96%⇒100%	4	4	○継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校長を中心として、組織としての運営が機能していると思います。今後のさらなる飛躍を期待します。</li> <li>・ 学校教育目標や教育方針が教職員に十分理解されています。そのことは先生方の実践でその効果が表れるものと思います。</li> <li>・ 教師間の十分な評価がなされている。</li> <li>・ 学力向上は困難な課題である。日々の学習で向上を図るしかない。立派なプランを作ってその実践が問われる。子どもの実態を十分に把握する。それが学力テストであるかも。</li> <li>・ 学力向上の取組については、常に研修されています。アンケート8（子どもは、確かな学力が身につけている）での保護者の評価が89%と高まったことは先生方の熱意の伝わりがあったと思います。</li> <li>・ 体力向上プランについては、プランが教職員に十分周知されているにもかかわらず機能化できなかったのであれば、プランの見直しを含めて全職員が目標に向かう体制づくりが必要と感じました。</li> <li>・ 学力だけでなく、体力も向上しています。</li> <li>・ 学力向上・体力向上プランは、細分化して実践するほうが良いのではと考えます。立派なプランを立てても実践へ移すことが困難であろうから、単発のプランを積み上げる等、子ども達の集中力は長く続かない為。</li> <li>・ 体力向上・・・学校のみでの取組はいかななものか。家庭・社会教育全般で考え、実践する必要があると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織の協働体制を強化するためには、実態に合った校務運営規程や校務分掌組織に改善し、きめ細やかな運営を図っていく。</li> <li>・ 保護者との信頼関係を築き、課題解決のために協働できることを増やしていく。</li> </ul>
	2 校務分掌組織が連携し、協働体制で取組を行う教師集団 教職員のAB評価93%⇒100%	3	4	○継続 仕事内容・校務分掌組織の見直しを年度内に評価・改善を図る。		
	3 定期的な評価・改善を図る学校組織 教職員のAB評価93%⇒96%	4	4	○継続		
	4 学力向上プランを機能化する学校組織 教職員のAB評価85%⇒100%	4	4	(確かな学力育成部) ① 学力テスト等の結果をもとに学力向上プランを付加修正し、取組の充実を図る。 ② 学力向上プランを職員室に掲示する。 ③ 同学年部会議のファイルに添付し、月初めに振り返る時間をとる。		
	5 体力向上プランを機能化する学校組織 教職員のAB評価70%⇒100%	3	4	(健康・体力育成部) 体力向上プランを知らせ、学期末に評価し、付加修正を行うようにする。		
	6 学級・学年経営が充実する教師集団 教職員のAB評価78%⇒100%	4	4	(確かな学力育成部) 学年経営案を振り返るシステムを構築する。月末に同学年部会議で評価改善を行う。		

	7	美しく学習の雰囲気を満たした教育環境  保護者のAB評価75%⇒87%	4	4	(豊かな心育成部) 環境部会から具体的な学校内の環境整備について、 <b>掲示板分担表の提案</b> を行行い、 <b>実施する。</b> <b>※児童のよさを認め合う。</b> (事務部) ・昨年度のからの取組を継続する。校内及び教室入口の廊下に花を飾る	子どもたちの生活実態は、インドアの遊びが多いのでは。外は危険・いろいろと問題あり。 ・廊下に児童の作品がたくさん貼ってあり、頑張っている姿が浮かびました。 ・学校内だけでなく、周辺も美しく整備されている。 ・学校に出向くことはあまりないのですが以前より、教育環境は整っていると感じています。また学校全体もきれいになっていると思います。保護者の方々はどのような学校をイメージされているのかわかりません。 ・問題の洋式水洗トイレの増設工事等々の改修工事が終わり、保護者も子ども達も安心することでしょう。 ・背中には「機械」手には「箒」を校長先生、教頭先生の土日の姿があります。お疲れさんです。 ・校内・教室内の環境等、廊下の花、花瓶など、よく整備されています。 ・花を見るだけでも心が和みます。	
II 生 徒 指	8	自分のことを大切にする児童 <b>児童のAB評価92%⇒92%</b>	4	4	○継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活において言葉が非常にたあいせつではないかと思えます。低学年時に人権学習で学ぶ「ふわふわ言葉」「ちくちく言葉」がベースとなり、周囲の人への思いやりの気持ちが生まれると思えます。</li> <li>あいさつもできています。人より先には全員ではないが、歩いてくる子は挨拶はできます。</li> <li>声は出さないが、笑顔で会釈する子ども、気持ちのいいものです。</li> <li>生徒指導のむつかしさ、よかれと思う指導や指示が、受け取られ方(考え方)の違いで問題が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導の一層の充実を図り、安心・安全な学校づくりに努力する。</li> <li>不登校解消や規範意識の醸成のために保護者や関係機関と連携を図り取組を進めていく。</li> </ul>
	9	友だちのことや周りの人を大切にする児童 <b>児童のAB評価92%⇒94%</b>	4	4	○継続 <b>※心に響く道徳の時間・人権学習の授業改善、学級会活動の充実</b>		
	10	目標をもって行動する児童 <b>児童のAB評価92%⇒94%</b>	4	4	○継続		
	11	元気よく挨拶ができる児童	3	4	(豊かな心育成部) 昨年度より続けている、毎月の規範意識調査の継続。児童への		

導				意識づけはできている。 今後の具体的な取り組みとして ① 委員会活動との連携。 ② 帰りの会等での称賛。 ③学級内において週間のめあてにあげる。等の積極的な取り組みを提案していく。 ※本校の教育の重点化にあげる。	生じることがある。 ・児童の様々な状況を把握して早期に対応するために、小中学校と子どもの実態等を日頃からの情報共有をさらに図っていくことが必要です。 ・生活指導は家庭が主となり行うことだと思っておりますが、現実はそのようになっていないので先生方は大変だと思います。機会ある度に保護者へのアピールを続けてください。特に時間を守ることの大切さは一生続く事を児童や保護者に。 ・二学期は遅れても、時間内に一人で登校する強くなった子もいます。 ・いじめ問題はいつの時代にも存在するものであり、教師は学級内で発見することが大切である。常にアンテナを高くもつ。	
	12	生活のルールなどを守る児童 児童のAB評価 89%⇒92%	4	4	(豊かな心育成部) ・教職員が課題を共通理解し意思統一した指導にあたる。 ・間違った言葉使いをしたときには、その場で言い直させる ・廊下歩方は、教師が注意するだけでなく、児童同士が気付き教え合える環境をつくっていく。 (委員会活動との連携)	・ほめて叱るか？叱ってほめるか。 心理的にどちらがいいか。 ～ほめて・叱る。～
	13	良いことをしっかりほめる教師 児童のAB評価 89%⇒95%	4	4	○継続 「鍛えて・ほめて・認め・励ます」 教育活動の充実	・遅刻の原因は家庭か児童か。その実態はどうなのでしょう。 (遊びながら遅刻する子どもは少なくなったと思います。)
	14	悪い時はきちんと叱る教師 児童のAB評価 95%⇒95%	4	4	○継続	
	15	遅刻をする児童を減らす取組 遅刻回数20回以上の児童12人	2	2	※ 家庭と連携した予防的な取組・早期発見・早期対応の取組の更なる充実	
	16	徒歩で登校している児童を増やす取組 晴天時徒歩登校児 (H28 60%)			※	
	17	不登校児童を出さない取組(遅刻・減らす取組) 教職員のAB評価 85%⇒96% 不登校児童2人	3	4	※ 予防的な取組・早期発見・早期対応の取組の更なる充実、関係機関との連携(ケース会議)の実施	

Ⅲ 学 習 指 導	18	人の話をしっかり聴く児童 児童のAB評価94%⇒92%	4	4	○継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業参観での児童の学習態度は素晴らしい。また補助教員の配置で学習向上にもつながっていると思う。</li> <li>全学年、学習参観をさせていただいたが、学習態度が大変良かったと思います。丁寧に使われた筆記用具には感動しました。</li> <li>先生の話をしっかり聴き、「はーい」と手をあげる子、前に出て発表する子、各学年、楽しく活気に満ちた授業でした。保護者の皆さんも先生方の教育熱意が伝わった授業参観だったと印象に残りました。</li> <li>色々な面で児童や先生方の評価が伸びているのは、毎日いろんな工夫をしながら、分かりやすい授業づくりをされているからだと思います。春の一年生の学習参観や今回の参観、運動会では、保育所のように心配していた子ども達をはじめ、学級全体が落ち着いている姿を見て、先生方の指導に感謝していますし、嬉しく思っています。</li> <li>分かる授業とは言葉では簡単であるが、全児童へのその取組は難しい。(定義を明確に)</li> <li>「言語環境を増やす取組」に興味があります。今後、人前で説明する機会や学習が多くあると思いますので、正しい日本語の習得などあるとよいですね。(新聞記事の活用など)</li> <li>わかる授業の困難さ、教師でないと分からない苦勞です。</li> <li>年度当初、学期当初等、「碓井校区」で共通に取り組む内容・目標等が確認できたと思います。</li> <li>読書の大切さ、効果は将来現れるものです。「評価4」は素晴らしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業充実と家庭学習の徹底を図る。</li> <li>学力向上プラン、体力向上プランをさらに具体化した内とする。実施においては、改善を図りながら、課題解決を図る。</li> </ul>
	19	読書量を増やす取組 月に3冊以上読書をする児童 7月59%⇒12月60%	4	4	○継続		
	20	家庭学習の習慣が身に着いた児童 児童のAB評価88%⇒90%	3	4	(確かな学力育成部) ・新家庭教育宣言の取り組みとリンクさせ、家庭学習提出率向上を図る。 宿題内容の更なる工夫・充実		
	21	自学が身に着いた児童 児童のAB評価78%⇒88%	3	3	(確かな学力育成部) 学年掲示板に自学ノートを貼り、内容の交流をすることで充実を図る。		
	22	分かる授業づくりに努める教師 児童のAB評価93%⇒100%	4	4	○継続 職員研修の充実		
	23	言語活動を増やす取組 児童のAB評価78%⇒100%	3	4	(確かな学力育成部) 算数科で取り組んでいる「書く⇒話す⇒発表する」という言語活動を他教科へと広げていく。		
	24	朝自習時間の効果的な取組 教職員のAB評価93%⇒96%	3	4	○継続		
	25	基礎・基本の学力が身に着いた児童 NRT学力検査結果全国偏差値48.6			※ 偏差値50以上を目指す取組の充実。1ポイントアップ		
	26	耐力が身に着いた児童 児童のAB評価92%⇒94%	4	4	※ 自己の目標の設定 (鍛えて・ほめる)		
27	コーディネーショントレーニングを導入する取組 教職員のAB評価54%⇒100%	3	4	(健康・体力育成部) 外部講師を定期的に活用する。 コーディネーションCDを配布し、準備運動で活用する。			

IV 研 修	28	主題研修を計画的に行い、指導力を高める教師 <b>教職員のAB評価100%⇒100%</b>	4	4	○継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の結果が、昨年の11月の研究発表会で他の学校の多くの先生方から「子ども達のがんばる姿に研究の成果を確認することができた」と絶賛の言葉、最高です。今まで以上に研修に熱が入ると思います。</li> <li>各学年2組あるので、同学年会で教材研究（打ち合わせ）を十分されることが大切でしょう。</li> <li>研修の還元、できたら参加者による、研修会の開催につながることができたらと思います。</li> <li>新聞記事によく先生の記事が大きく載っていることがあり、その先生の教育方針を学ぶ機会を研修としてはどうでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な研究を実施しながら、授業改善を図る。</li> <li>日常的に互いに学び合う、研修の</li> </ul>
	29	一般研修で効果的に指導力を高める <b>教職員のAB評価93%⇒100%</b>	4	4	○継続 若手職員を育成する研修の充実		
V 保 護 者 地 域 と の 連 携	30	PTA総会や保護者懇談会に参加する保護者 <b>保護者のAB評価43%⇒50%</b>	2	2	□PTA役員会で協議を継続する。 PTA総会の参加者は増加 懇談会の内容の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>校長先生が変わったので学校だより「『碓井っ子』いい名前ばい。ずっと楽しみと」地域の人が待っています。</li> <li>PTA総会などは、他校も同じと考えるが場合によっては、県内の実態はいかがなものだろうか。時代の流れもあるだろう。</li> <li>学校園が今年も黄金色、稲が頭をさげる豊作です。</li> <li>早朝からエプロン姿の保護者、次は僕の番と言って、全員が交代で杵を持ち、教科書の中では、できない5年生の楽しい笑顔のもちつき大会でした。</li> <li>米づくりなど積極的に地域と交流を行っている。碓井地区ならではの歴史や文化にも触れていくとよいのではないのでしょうか。</li> <li>携帯・スマートフォン等の使用について、情報について保護者への啓発が必要であると思います。「家庭での会話」について、焦点化した取組が必要に思います。</li> <li>「PTA総会や保護者懇談会に参加する保護者」については、PTA役員会で保護者の意見聴取を行って方針を出してはどうでしょうか。</li> <li>自家用車にての児童の送迎・事故の起こらない</li> </ul>	
	31	「学習のすすめ」など協力して推進する保護者 <b>保護者のAB評価78%⇒78%</b>	3	3	(確かな学力育成部) 1回配付しただけでは効果が薄いので、改善策として学期はじめに再配布する。 □PTA役員会で協議を継続する。		
	32	地域の「人・もの・こと」を取り入れた授業実践 <b>教職員のAB評価84%⇒100%</b>	3	4	※2学期以降実施を行った。 嘉麻市の方針 地域の「人・もの・こと」教材の作成		
	33	家庭や地域に「よさ」を知らせる広報活動 <b>保護者のAB評価94%⇒95%</b>	4	4	○継続		
	34	子どもや保護者の願いをくみ取る学校 <b>保護者のAB評価86%⇒90%</b>	4	4	(確かな学力育成部) 保護者アンケートを次年度の事務に残す		
	35	人権を尊重して教育活動を行う教師	4	4	(総合基盤・児童支援部)		

		<p>保護者のAB評価 87%⇒87%</p>		<p>本部と共に人権同和教担当者が核となり、12月に「いじめ問題（言葉遣い）」を中心とした各学級で授業公開を行い、保護者・児童・学校で人権について考える機会を設定した。</p> <p>保護者の反応がよかった。今後も積極的な取組を充実させたい。</p>	<p>ように校内での車の徐行を留意されたい。 （交通法規・シートベルト、スマホ等禁止等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路には、四季の花々を覚えることができ、いろんなことが見えてきます。車での送迎は、雨とか、どうしても歩いて行けないときを除いて、歩行での通行が望まれます。</li> <li>・全体を通して先生方は学力向上のため日々努力されていることに感謝いたします。先生方の業務も多岐に渡り、本来の業務ができなくなっていないか、不安を抱いています。事務内容の見直しや職場ストレスチェックを活用して職場環境の改善をお願いします。</li> </ul>	
--	--	-------------------------	--	---	--	--